

大阪インターナショナルチャーチ： ブルース・アレン牧師

エペソ人への手紙 4:15-16 新国際版 (NIVUK)

エペソ人への手紙 4:17-32 リビングバイブル (特に記載がない限り)

2024/09/01

神の恵みの栄光のために- イエスとのより親密な歩み

OIC のみなさんおはようございます。父なる神の家へようこそ。

今日は、聖霊の靈感を受けて使徒パウロが書いた書簡であるエペソ書を引き続き読んでいきます。前回のメッセージでは、パウロがどのようにエペソの信徒に指導を行ったのか、すなわち、今日のすべてのクリスチャンに指導を行ったのか、つまり、イエスが教会の特定の役職に就くように召された人々の賜物の多様性を用いながら、神がどのように教会に一致を創り出されたのかを見てきました。これらの指導者たちは、神が彼らにより多くのことを求められ、神からより大きな力を受けるのです。今週は、「神の恵みの栄光のために-イエスとのより親密な歩み」と題した、クリスチャンの歩みに関するパウロの指示を見ます。

さて、前回のメッセージの最後の言葉を復習しましょう。

私たちクリスチャンは、神の力の重要なチャンネルであるリーダーたちの助けによって、成長と成熟の道を歩んでいます。これは、エペソ 4. 11 にある神のご計画によるものです。

エペソ 4:11 そして、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音宣教師、ある人を牧者、教師とされたのです。

「人による教会の力」 そうすれば、パウロが (エペソ 4. 15/NIVUK) で言ったように、「奇跡的に」私たちは成長し、あらゆる点で頭である方、すなわちキリストの成熟した体となるのです。そしてまた、

エペソ 4:16 キリストにより、体全体は、あらゆる筋々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて、おのおのの部分は分に応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。

私は、イエスに従うことよりも自分の富を選んだ金持ちの若い議員にイエスが向かい合った話を語った事があります。

ルカ 18:27 イエスは、「人間にはできないことも、神にはできる」と言われた。

これは、OIC を含むどの教会にとっても、そのような成熟度まで成長することがいかに不可能に思えるかを強調するためでした。さて、今日のメッセージの課題は、そのような「霊的な豊かさ」対「地上の豊かさ」の選択にあるではありません。ルカ 18. 27 イエスは答えられた。『人間にはできないことも、神にはできる』

ミッション・インポッシブルクリスチャンの生き方

エペソ 4:15 にあるように頭であるキリストに向かって成長するために、教会の信仰がいかに試され、伸ばされているかを強調しました。そしてエペソ 4:16 にあるようにキリストにより、体全体は、あらゆる筋々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて、おのおのの部分は分に応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。さて、今日のメッセージは、私たちのイエスとその父に喜ばれるクリスチャン生活を送るためのものですが、神の助け主である聖霊なしには、同じように不可能であることを強調したいと思います。すべてのクリスチャンは、「地の果て」に遣わされるにせよ、イエスに「今いる場所にとどまるように」と命じられるにせよ、聖なるクリスチャン生活を送るといふ、この不可能な使命を帯びているのです。

パウロと主イエスは、エペソ 4. 17 において、このクリスチャン・ライフを主張している。

エペソ 4:17 そこで、わたしは主によって強く勧めます。もはや、異邦人と同じように歩んではなりません。彼らは愚かな考えに従って歩み…

使徒パウロは、彼、すなわち主イエスがクリスチャンに何を求めているかを明らかにしています。もはや、異邦人と同じように歩んではなりません。彼らは愚かな考えに従って歩みということです。罪人は何かを選ぶことができません。彼らはサタンによって盲目になっています。最近会った日本人のタクシー運転手が言いました：「私は無宗教で自由です：仏教、神道、キリスト教！」。彼は「宗教」から自由だと言ったが、自分が盲目で混乱していて、罪とサタンの奴隷であることを知らないのです。このように、イエスは十字架上で御父に次のように祈られました。

ルカ 23.34 イエスは言われた。「ペトロ、言うておくが、あなたは今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう。」

それは、これまで生きてきたすべての罪人が、悪によって盲目になっている間に、赦しを与えられるためのとりなしの祈りです。生まれ変わった私たちは、神の驚くべき光の中に導かれ、罪を悔い改め、罪とサタンから離れます。だから私たちは、イエスからごく当然のこととして、クリスチャン生活を送ることを期待されているのです。

「ブルース牧師、なぜクリスチャンがクリスチャン生活を送ることは不可能だとおっしゃるのですか？ どうしてパウロは、神が不可能なことを私たちに求めておられると言うのですか？」と聞かれるかもしれません。

そして私の説教の多くでも言いたいのは、クリスチャン生活を送ろうと努力するだけでは失敗するということです。私たちは自分の意志を実践する責任があります。罪人であった私たちにはなかった意志を、最初は神に向かって歩み、罪とサタンから遠ざかることでした。その仕事は私たちに課せられています！ しかし、マルティン・ルターによる有名なキリスト賛歌『A Mighty Fortress is Our God (力強い砦はわれらの神)』が宣言しているように、「もしわれわれが自分の力に頼るなら、戦いは負けて終わる」のです。この讚美歌における戦いは、敵であるサタンとの戦いに焦点を当てています。しかし、しばしばもっと難しいのは、私たちの古い罪深い思考生活と、それが導く罪との戦いでなのです。これにも祈りと信仰が必要です。赦された罪人であり、今や聖徒である私たちは、非難を恐れることはありません。しかし、私たちの罪深い性質は、罪深い肉と悪魔に打ち勝つ者となるために、神の力を必要としています。ですから、私達は自分の意志で、ローマ 6.11 に書いてあるとおり、罪に対して死んだと見なすことを選ぶのです。

ローマ 6:11 このように、あなたがたも自分は罪に対して死んでいるが、キリスト・イエスに結ばれて、神に対して生きているのだと考えなさい。

しかし同時に、イエスは次のように宣言しておられます。

ヨハネ 15.5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

ルターの賛美歌はこう続けている：「もし正しい人がわれわれの味方でなかったら、戦いは負けてしまうだろう。その正しい人とはキリスト・イエスである…」。それゆえ、クリスチャンの内側におられるイエスの霊、すなわち聖霊は、悪魔のもとで長年過ごしてきた私たちの習慣のように、もはや罪深い思考の無益さの中で生きることはないよう、私たちの意志にイエスの力を加えなければなりません。だから、神は御霊によって、世界中のすべてのクリスチャンに、そして私たちが栄光のうちに天国に入るまで毎日、この不可能なことを起こされるのです。

親愛なる OIC の聖徒たちよ、あなたも考えているかもしれません：「でも、ブルース牧師、この神学は複雑すぎて、私のクリスチャン生活ではいつも考えることはできません。私は、聖霊がこの教えの一部、特に聖書の箇所を「ピーナッツバター」のようにあなたに密着させることを保証します。しかし、同時に私は、それが合理的だからあなたが言ったかのようにその質問を投げかけ

たのです。神の御言葉を含む答えは、あなたが「イエスとのより親密な歩みを望んでいる」ということです。先ほど歌った歌のように、「より近く」というのは、すでに近い歩みではないという意味ではないことに注意してください！それは、私の罪深い性質が、私の素晴らしい愛の救い主、イエスの近くに留まらないように私を動かし続けているということです。だから、私はただ、あなたとのより近い歩み (Just A Closer Walk with Thee) のために祈るのです！

エペソ 4:17-18 そこで、わたしは主によって強く勧めます。もはや、異邦人と同じように歩んではなりません。彼らは愚かな考えに従って歩み、知性は暗くなり、彼らの中にある無知とその心のかたくなさのために、神の命から遠く離れています。

「いい人」の罪人がいると思わないでほしい。確かに、特に日本の文化的習慣では「いい人」に見えるかもしれないが、彼らは神を欺くことはできません。神は彼らを愛しておられます... 私たちは彼らのために祈り、証しするのです。

エペソ 4.19 そして、無感覚になって放縱な生活をし、あらゆるふしだらな行いにふけてとどまるところを知りません。これは罪人の真実の描写です。

実際、聖書は罪人は神に対する敵であると宣言しています。(ローマ 5.10) 敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。しかし、神の恵みによって私たちがクリスチャンになったように、彼らもそうするかもしれません。しかし、私たちの人生は、彼らのような生き方であってはなりません。私たちは善悪を知っています！私たちは不純ではなく聖さを望みます。私たち人間の欲望は、神を喜ばせるために聖霊によって和らげられ、調整されます。

エペソ 4:20-21 しかし、あなたがたは、キリストをこのように学んだものではありません。キリストについて聞き、キリストに結ばれて教えられ、真理がイエスの内にあるとおりに学んだはずです。

御霊によるイエスの臨在、聖書の中のイエスの教え(あるいは、エペソ人への手紙のように、聖書が書かれる前の使徒たちの手紙からの教え)、そして、現代と1世紀のユダヤ人のための旧約聖書、すべての神的な影響を合わせたものが、イエスご自身に関する真理なのです。これらの教えは、キリストがあなたがたに教えた方法ではない罪人のライフスタイルとは反対に、対照的です。さて、(エペソ 4.21) において、パウロは、伝道者であり、牧師、教師、宣教師であると同時に... 疑うよう勧めています。なぜでしょう？ エペソにいる誰かがクリスチャンであることを偽っているのなら、死によって救いの扉が閉ざされる前に、そのことに早く気づいた方がいいからです。だからパウロは語ります：キリストについて聞き、キリストに結ばれて教えられ、真理がイエスの内にあるとおりに学んだはずです。御霊の「静かなる小さき声」を聞いた。それはイエスである！クリスチャンは、心の中でその声を聞き、曲がりくねった歩みの中で心を動かされ、キリストのもとに来たことを知っている。もし」は、自己吟味を促すためのものだ。神は、イエスを信じるすべての信者が、パウロと同じように自信を持ってこう言うことを望んでいるのです。

2テモテ 1.12 そのために、わたしはこのように苦しみを受けているのですが、それを恥じていません。というのは、わたしは自分が信頼している方を知っており、わたしにゆだねられているものを、その方がかの日まで守ることがおできになると確信しているからです。

成長するにつれて自信は増していくが、生まれ変わったとき、新生した者は、自分の罪の赦しのために死んでくださったのがイエスであることを心の底から知っています。

エペソ 4.22、だから、以前のような生き方をして情欲に迷わされ、滅びに向かっている古い人を脱ぎ捨て...

ギリシャ語の新約聖書 (MOUNCE) は、あなたの古い邪悪な性質は、その欲望によって墮落し、惑わ

されている (apatē) と表現しています。アパテー (ἀπάτη) とは、私が「3つのD」と呼ぶ、欺き、欺瞞、惑わしのことです。このクリスチャンへの教えは、(ローマ 6.11) と似ています。

ローマ 6.11

このように、あなたがたも自分は罪に対して死んでいるが、キリスト・イエスに結ばれて、神に対して生きているのだと考えなさい。しかし、(エペソ 4.22) にあるパウロのこの勧告には、もっと感情的な説得力とパンチがあります。私たちの古い性質が心の中で騒いでいるだけなら、私たちはそれを無視し、罪に対して死んだとみなすことができます。しかし、私たちの古い邪悪な本性からの積極的で欲望的な欲望は、しばしば強いものである。

エペソ 4:22 には、だから、以前のような生き方をして情欲に迷わされ、滅びに向かっている古い人を脱ぎ捨てとあります。

ギリシャ語の新約聖書 (MOUNCE) は、あなたの古い邪悪な性質は、その欲望によって墮落し、惑わされている (apatē) と表現しています。アパテー (ἀπάτη) とは、私が「3つのD」と呼んでいる、**欺き、欺瞞、惑わし**のことです。このクリスチャンへの教えは、ローマ書に書かれているものと似ています。

ローマ 6:11 このように、あなたがたも自分は罪に対して死んでいるが、キリスト・イエスに結ばれて、神に対して生きているのだと考えなさい。

しかし、(エペソ 4.22) にあるパウロのこの勧告には、もっと感情的な説得力とパンチがあります。私たちの古い性質が心の中で騒いでいるだけなら、私たちはそれを無視し、罪に対して死んだとみなすことができます。しかし、私たちの古い邪悪な本性からの積極的で欲望的な欲望は、しばしば私たちの感覚を圧倒する強い感情であり、私たちはキリスト以前の時代から、罪の行為によって満足する習慣があります。このような感情的な誘惑は捨てなければいけません。そのためには、私たちの意志による受動的ではなく能動的な行為が必要なのです。

キリスト以前の私たちはどれほど悪かったのでしょうか？邪悪で、どこまでも腐っていました。アメリカの北部、特に五大湖から大西洋にかけての地域には、豊かな自然とリンゴ園があります。五大湖畔の農場で育ったドロシーによれば、リンゴにはさまざまな品種があるそうです。「芯まで腐ったリンゴ」という不名誉な表現をずっと耳にしてきましたが、これは「Bad Apples 腐ったりんご(日本語の「腐ったみかん」と同じ意味)に由来します。だから、ブルース牧師は、「私たちは皆、**{悪いリンゴのように芯まで腐っている}**」と言いました」

リンゴと馬と成熟したクリスチャン

イエスは、偉大な説教者..... 史上最高の説教者..... の例に漏れず、まずご自分が生きた文化に合った例え話やたとえ話を選び、そしてもちろん、ご自分がそのために死ぬことになる全世界の普遍的な概念や考え方を選ぶことが多くありました。しかし、イスラエルは、アメリカのミシガン州やニューイングランドよりも日本に似ています。リンゴは、夏は暑いけど短い、涼しい気候を必要とします。もしエルサレムがミシガン州だったら、イエスはこう言ったでしょう：「**あなたがたはリンゴの木の子であり、私はリンゴの木である。あなたがたの枝がリンゴを育てるためには、リンゴの木である私のうちにとどまらなければなりません。**」

さて、ドロシーの農園とその周辺のリンゴ園に戻り、クリスチャン生活を成長させることについて論じることをお許しいただきたい。ブドウの木はある程度色が変わるが、リンゴは熟し具合や成熟度を視覚的に示す手がかりがたくさんあります。ですから、エペソ人への手紙のこの箇所では、「リンゴ」を選びました。リンゴは、時間や大きさだけでなく、見た目を選ぶことが多いです。ほとんどの種類は、濃い緑色から真っ赤に熟します。私が言いたいのは、まだ半分緑色のものを選ぶなら、それは最高の味に達していないということです。クリスチャンの成長もそうです。エペソ 4.22) にあるように、私たちクリスチャンはもはや「芯まで腐った悪いリンゴ」ではありません。私た

ちは今、木の上で成熟するリンゴのように、より赤く、よりイエスに似ています。

エペソ 4.23 でパウロは、神に喜ばれるクリスチャン生活を表現するために、罪の否定的な要素に代わって肯定的な要素を加えている。

エペソ 4:23 心の底から新たにされて、

パウロは、成長は任意ではないと明言しています。(エペソ 4.23) 今、あなたがたの態度や思考はすべて、常に良い方向に変化していかなければなりません。こうして私たちは、リンゴのように木の上で、あるいはブドウのようにブドウの木の上で熟すように命じられています。…イエスとつながっているのです。

ヨハネ 15.4 私のうちにとどまりなさい、そうすれば私もあなたがたのうちにとどまります。枝がぶどうの木にとどまらなければ、自分で実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにとどまらなければ、実を結ぶことができません。

リンゴやブドウは良い実です！ 私たちが実らせなければならない霊的な実とは、(エペソ 4.23)にあるように、態度や思考が常に良い方向へと変化していくことです。このように改善されていくことは、イエスのうちに「とどまる」ことの結果として、長い期間にわたってのみ起こり得ることなのです。ギリシャ語の μένω (メノー) とは、「留まる」、「親密で落ち着いた関係にある」という意味です。従って、イエスとの「留まる」関係とは、主であるイエスとの緊密で落ち着いた結びつきのことです。これは、態度や思考が常に良くなるために必要なことです。ですから、私たちは皆、このイエスとの親密で落ち着いた結びつきを切望する必要があるのです。それが、私たちが成熟し続けるための、イエスとの「より近い歩み」なのです。

私が選んだ成熟リンゴは、クリスチャンがこの世を去ってイエスと一緒にいるとき、その人がどれだけ成熟しているかは関係ないという意味にも合っている！ 重要なのは、彼が“成熟”し、生き方において主に似た者となり、常に良い方向へと変化していたかどうかということだ。それが、イエスのもとに帰るときの彼の方向性なのだ。また、教会においても、私たちは皆、成熟度の異なるリンゴ、あるいはリンゴのような赤みの濃淡のあるリンゴである。多くの場合、このクリスチャンの霊的な色の変化を見分けることができるのは、私たち牧師や指導者だけである。私たちは、誰が私たちの助けを必要としているのか、そして彼らの助け主である聖霊をもっと必要としているのか。つまり、彼らの人生にイエスをもっと必要としているのかを知る必要があるのです。

次に、パウロは (エペソ 4.24) で “must (～しなければならない)” という動詞を使った励ましを続けています。

エペソ 4:24 神にかたどって造られた新しい人を身につけ、真理に基づいた正しく清い生活を送るようにしなければなりません。

デパートで買ったばかりの洋服のように、新しい性質を身につけることを想像してみるのもいいかもしれません！ ライフ・アプリケーション・バイブル (LAB) の脚注にある、(エペソ 4.24) についてのこのコメントが気に入っています：

「クリスチャン生活はプロセスである。私たちは新しい性質を持っていますが、キリストにあって新しい人間になったからといって、自動的にすべての良い考えや態度を持つようになるわけではありません。しかし、神に耳を傾け続けるなら、私たちは常に変化していきます。この1年を振り返ってみて、あなたの考え、態度、行動に良い変化がありましたか？ 変化には時間がかかるかもしれませんが、神が私たちを変えてくださると信頼することによって、変化はもたらされるのです。」

このコメントにアーメンと言いたい。しかし、クリスチャン生活における私たちの励ましにとっ

て同様に重要であると私が信じるもう一つの要素を付け加えなければなりません。それは、この一年を振り返ってみて、あなたの助け主である聖霊が、あなたをより良くし、イエスをより現実のものとしてくださる力であることを感じましたか？ 私は、キリストにおける最高の成長は、神に耳を傾けることから生まれると確信しています。

要点 #1 この1年間を振り返って、あなたの考え、態度、行動に良い変化がありましたか？ また、この1年で、あなたの助け主である聖霊が、あなたをより良くし、イエスをより現実のものとする力であることを感じましたか？ 私は、キリストにおける最良の成熟は、神、すなわち御言葉と御霊に耳を傾けることからもたらされると確信しています。

パウロは今、エペソ人への手紙の中で、彼らがやめなければならないことをいくつか挙げています。これらは、罪人たちが問題ない、普通のことだと考えていることです…イエスにとってはそうではありません！

エペソ 4:25 だから、偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。わたしたちは、互いに体の一部なのです。

嘘をつくのをやめなさい (エペソ 4.25) : クリスチャンが嘘をつくとき、その人は心の王座の中でイエスに取って代わることをサタンに求めています！ イエスはこのことを、反キリストのパリサイ人たちにはっきりと言われました。

ヨハネ 8.44 あなたたちは、悪魔である父から出た者であって、その父の欲望を満たしたいと思っている。悪魔は最初から人殺しであって、真理をよりどころとしていない。彼の内には真理がないからだ。悪魔が偽りを言うときは、その本性から言っている。自分が偽り者であり、その父だからである。

つまり、クリスチャンが嘘をつくとき、彼はサタンに自分の「パパ」、「父」になるように頼んでいるのだ。あなたの過去から習慣となっているこの行為をやめるられるよう、イエスに願ってください。主はかなえてくださるでしょう！

パウロは特に、「互いに嘘をつくのをやめなさい」と言っていることに注意してください。クリスチャンがクリスチャンに対して罪を犯す時、聖霊は特に悲しまれます。パウロは、誰に対しても嘘をついてもいいとは言っていません。イエスは十戒を含むすべての律法を成就され、律法はイエスとともに十字架に釘付けにされました。だから私たちは御霊によって歩むのであって、律法の下にはいません。しかし、聖霊は常に私たちが戒めを破らないように導いてくださるのです。

出エジプト記 20:16 隣人に関して偽証してはならない。

また、イエスはこの戒律に反することを教えられたのではありません。

マタイ 7.6 神聖なものを犬に与えてはならず、また、真珠を豚に投げてはならない。それを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたにかみついてくるだろう。

クリスチャンは、ノンクリスチャンと何を分かち合うかについて、境界線を持つ必要があります。真理を語るのです。(エペソ 4.25) : 私は8月4日に、愛をもって真理を語ることの難しさと必要性について説教しました。

エペソ 4:15 むしろ、愛に根ざして真理を語り、あらゆる面で、頭であるキリストに向かって成長していきます。

ブルース牧師、クリスチャン仲間に必要な真理を語ることに違和感があるときは、どうすればいい

のですか？ 私の答えはこうです：「詩篇 127.1」を思い出してください。」

詩編 127:1 主御自身が建ててくださるのでなければ 家を建てる人の労苦はむなしい。主御自身が守ってくださるのでなければ 町を守る人が目覚めているのもむなしい。

家、都市、あなたの魂の神殿、そして地方教会はすべて、この聖書の教えの下にあります。愛のうちに真理を語るために、あなたの問題をイエスに知らせておきましょう。主は必要な真理が語られるのを妨げることなく、あなたを導いてくださるでしょう。

なぜなら、エペソ 4:25 にあるように、わたしたちは、互いに体の一部なのです。

OIC、主イエス・キリストの地方教会である私たちは、聖霊の神殿であり、家である。したがって、私たちはこの地上にあるキリストの完全なからだの一部なのです。使徒パウロは、コリントの地方教会に向かって次のように述べました。

1 コリント 3.16-17 あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。神の神殿を壊す者がいれば、神はその人を滅ぼされるでしょう。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたはその神殿なのです。

ですから、(エペソ 4.25) にあるように、私たちが互いに嘘をつくとき、私たち自身を傷つけているのです。教会に悪魔を招き入れ、嘘をついた相手がそれを知り、深く傷つく可能性が高いだけでなく、嘘をつく時、私たちは聖霊を悲しませるのです。私たちがまだイエスの教会である以上、聖霊が完全に去ってしまうことはありませんが、その力強い臨在は、教会が、日本の大阪で真理の最後の弱々しい音を立てるセミのようになるまで、減少し続けるでしょう！

パウロは、クリスチャンが小さな罪だと「感じる」かもしれないことの深刻な影響を教えるために、「してはいけないこと」、すなわち「NG リスト」について語り続けています。罪の大小にかかわらず、すべての罪はイエスを十字架につかわしました！

エペソ 4.26-27 怒ることがあっても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで怒ったままでいてはいけません。悪魔にすきを与えてはなりません。」

多くのクリスチャンが最も怒るのは、正当な理由や原因があるときです。しかし、関係するすべての人を赦すことは、あなたがイエスとより緊密な歩みをするために不可欠です。まあ、悪魔以外のすべての人を赦すと言うべきでしょう。しかし、本物のクリスチャンに影響を与える悪魔を、悪魔そのものと混同してはならない。私たちは皆、悪魔の邪悪な策略に騙されることがあまりにも多いのです。あなたは悪を憎むように命じられています。

ローマ 12.9 愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、…

クリスチャンよりも、私たちを傷つけた罪人を赦す方が簡単でしょう。私たちは、神がこのようにされるように、お互いにより良いものを期待しているのです。

エペソ 4.23 心の底から新たにされて、…

しかし、たとえクリスチャンであっても、彼らが私たちに赦すよう求める前であっても、私たちはすべての人を赦さなければならないことを忘れてはいけません。しかし、もし彼らが私たちに赦しを求めないのであれば、聖霊がキリストの体に引き起こしたいと願っておられる奔放な信頼を、私たちが取り除くことを神は期待しておられるのです。これらの境界線は必要であり、OIC での神の御霊の動きによって、神がそれらをすべて吹き飛ばしてくださるよう祈ります。また、怒りが私たち一人一人の中に湧き上がったその日に、できる限り対処しなければならないことにも注意してください。正当化された怒りは、赦し、恨みを抱かないという命令を変えるものではないのです。ま

た、思い出してください。ヘブル 10.3 にもこのような教えがあります。

ヘブル 10:3 「復讐はわたしのすること、わたしが報復する」と言い、また、「主はその民を裁かれる」と言われた方を、わたしたちは知っています。

エペソ 4:32 神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

ですから、私たちではなく、主イエスが報いを与えることも、復讐を受けることも決められますから、主イエスに委ねましょう！

要点 #2 聖霊の臨在の増大は、しるしと不思議を伴って御言葉を証しする力だけではない。それは、私たちが深く傷つけた人々に対して、私たちの心に赦しを起こさせる、私たちの心を超えたより大きな力を意味する。私たちは、神がイエスのために私たちが赦してくださったように、赦さなければなりません。神は、より多くのイエスの御霊によって、あなた自身の心の中に奇跡を見せてくださるでしょう。

エペソ 2. 28-29 は明確でシンプルです：

盗みを働いていた者は、今からは盗んではいけません。むしろ、労苦して自分の手で正当な収入を得、困っている人々に分け与えるようにしなさい。悪い言葉を一切口にしてはなりません。ただ、聞く人に恵みが与えられるように、その人を造り上げるのに役立つ言葉を、必要に応じて語りなさい。

長年悪口を使ってきた新生クリスチャンは、この悪い癖を直すのに時間がかかるかもしれません。多くの場合、物事がうまくいかないときの反射的な行動なのです！星著するにつれて、私たちはまだ心の中に悪口を見るかもしれませんが、真剣に祈れば、私たちの助け主である聖霊が、悪口を言わないように力づけてくださいます。これは、イエスが弟子たちに言われたことです。

マタイ 5. 20 言っておくが、あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさっていないければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない。

熱心な祈りによって、クリスチャンの舌に手綱がかけられるようになるのは、クリスチャンの心、もしくは主が望むように聖くなる前である。

もうひとつ、農家の娘である私の妻から聞いた話を紹介しましょう。彼女は馬の口に銜を入れ、手綱で固定していた。手綱を使うことで、彼女は馬に曲がれ、止まれとすることができました。馬はそうしたくないかもしれないが、銜の力で馬は命令を理解し、銜に抵抗すれば馬を傷つけることになるのです！彼女の馬もまた、彼女が調教するにつれて、彼女を喜ばせたいと思うようになりました。主イエスに従うことを学ぶ上で、主の動物は多くの良い教訓を私たちに教えてくださいます。

パウロは次に、これらの節の要点を指摘しています。

エペソ 4:30 神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、聖霊により、贖いの日に対して保証されているのです。

また、別の訳では、(エペソ 4・30/EASY) 神の聖霊を悲しませるようなことをしてはいけません。神は、あなたが神のものであることを示すために、その聖霊をあなたに与えました。その結果、あなたは、神がいつかあなたを完全に自由にしてくださることを知っているのです。クリスチャンが成熟し、イエスとの親密な関係、近くで歩むことを望むようになると、神の気持ちを個人的にもっと気にするようになります。神には感情があります。神の内住の御霊は、私たちがクリスチャン生活を送る様子を感じ取っておられるのです。成熟したクリスチャンは、上記のように、神に喜ばれることをするだけでなく、神が感じておられることをもっと感じることを学ぶにつれて、ますます良くなっていきます。イエスを悲しませることを考えるだけで、私たちは神の御霊に敏感になるは

ずです。馬でさえ、主人が感じていることを感じ、主人を喜ばせたいと思うようになります。馬は野生的で気ままな状態から成熟していきます。背中に誰かを乗せて、文字通り主人と共に歩むことを学ぶのです。

エペソ 4:31 無慈悲、憤り、怒り、わめき、そしりなどすべてを、一切の悪意と一緒に捨てなさい。

これは簡単に言えば、神が私たちに従う力を与えてくださる指導なのです。パウロが (エペソ 4.32) で語っているように、より良い行動に関するこれらのすべての指導の動機は、イエスの十字架から来ています。

エペソ 4:32 互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦して下さったように、赦し合いなさい。

キリストは私たちを贖い、まだ罪人であった私たちを買い取り、私たちのために死んでくださいました。神が私たちを赦されたのは、イエスが私たちの罪を取り除いてくださったからです。聖霊が、私たちのために十字架にかかり、苦しみ、血を流されたイエスに私たちを導かれたとき、私たちがどのような状態であったかを思い起こすとき…互いに赦し合うことは、イエスが私たち皆のために流された血の川のように流れるはずで

す。今、聖餐式を祝いながら、私たちの赦しのためにイエスの十字架を崇敬と感謝をもって思い起こしましょう…イエスとのより緊密な歩みを望まない人がいるのでしょうか？

REFERENCES

AMPC, & AMP- [Amplified Bible, & Classic Edition](#)

Copyright © 1954, 1958, 1962, 1964, 1965, 1987 by [The Lockman Foundation](#)

EASY - Easy English Bible Copyright © [MissionAssist](#) 2019 - Charitable Incorporated Organisation 1162807. Used by permission. All rights reserved.

KJ21- [21st Century King James Version](#) Copyright © 1994 by [Deuel Enterprises, Inc.](#)

LAB - Life Application Bible - Zondervan Publishers & Tyndale House, 1975

MOUNCE - The Mounce Reverse Interlinear™ New Testament Copyright © 2011 by [William D. Mounce](#). Used by permission. All rights reserved worldwide.

“Reverse Interlinear” is a trademark of [William D. Mounce](#).

NIVUK - Holy Bible, New International Version® Anglicized, NIV® Copyright © 1979, c 1984, 2011 by [Biblica, Inc.](#), Used by permission. All rights reserved worldwide.

TLB - The Living Bible copyright © 1971 by Tyndale House Foundation. Used by permission of Tyndale House Publishers Inc., Carol Stream, Illinois 60188. All rights reserved.